

【専門分野】

科目名	母性看護技術論	講師名	専任教員	学	2	履修期	第2学期
単位	1単位			年			
時間数	30時間(内15時間)						
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり。						
授業概要	周産期において正常に経過する妊婦、産婦、褥婦、新生児の看護に必要な看護技術を学ぶ。 正常、異常経過にある褥婦の看護実践のアセスメントを学ぶ						
授業科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 周産期の正常な経過を想起しながら、母性看護特有の技術が習得できる。 2. 周産期における保健指導技術が習得できる。 3. 周産期における看護の役割や責任について探求することができる。 4. 周産期における看護過程が理解できる。 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1回：妊婦・産婦に必要な看護技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊婦健康診査の実際 2) 胎児心拍数モニタリングの意義と判読 (NST・CTG) 2回：妊婦・産婦に必要な看護技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 観察法：レオポルド触診法 2) 間欠的胎児心拍数：超音波ドプラ法 3) NST装着方法 4) マイナートラブルへの対処 3回：妊婦に必要な看護技術(妊娠期) <ol style="list-style-type: none"> 1) 保健指導(保健相談) <ol style="list-style-type: none"> (1) 初期～中期：食生活の教育、マイナートラブル、乳房の管理 (2) 後期：出産の準備、育児の準備 4回：産婦に必要な看護技術(分娩期) <ol style="list-style-type: none"> 1) 呼吸法、陣痛・産痛の緩和法 2) 家族立ち会い、早期母子接触 (early skin to skin contact) 5回：褥婦に必要な看護技術(産褥期) <ol style="list-style-type: none"> 1) 進行性変化に対する看護 2) 退行性変化に対する看護 6回：新生児の生命維持・観察技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 出生直後の看護 2) 全身の観察、バイタルサイン測定、計測 7回：新生児に必要な看護技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) おむつ交換、更衣 2) 沐浴 3) 全身清拭 8回：母性看護における看護過程の特徴 <ol style="list-style-type: none"> 1) 問題解決思考とウェルネス思考の違い 9回～12回：正常経過をたどる褥婦の看護(看護過程の展開) <p>(情報の分類・分析・診断・計画立案・関連図)</p> 13回～15回：異常経過をたどる褥婦の看護(看護過程の展開) <ol style="list-style-type: none"> 1) 帝王切開術で分娩した褥婦の看護 (情報の分類・診断・計画立案) 15回：終了試験 						<p>講義</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>講義</p> <p>講義・演習 グループワーク</p> <p>講義・演習 グループワーク</p>
評価方法	筆記試験(60%)、課題レポート(30%)・授業参加状況(10%)						
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 専門分野 母性看護学 [2] 母性看護学各論, 医学書院. 2. 平澤美恵子・村上睦子：写真でわかる母性看護技術, インターメディカ. 						
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 堀内成子：パーフェクト臨床実習ガイドーライフステージに沿った看護技術と看護の展開ー母性看護実習ガイド, 照林社. 2. 藤森敬也：胎児心拍数モニタリング講座, メディカ出版. 3. 村本淳子：周産期ナーシング, ヌーヴェルヒロカワ. 						
学生へのメッセージ	<p>既習学習の内容を踏まえて、妊娠・分娩・産褥期の女性および家族に必要な看護技術を学んでください。また、新生児に必要な看護技術は、正確性・安全性を必要とします。校内実習では、実際の新生児に援助をするつもりで取り組んで下さい。看護過程では、母性看護学概論や母性看護援助論で学んだ知識を活用しながら、正常、異常経過にある褥婦の看護を学びます。既習学習内容をしっかりと復習し、主体的学習として取り組んで下さい。</p> <p>【関連科目】解剖生理学Ⅳ、共通基本技術Ⅲ・Ⅳ、生活援助技術Ⅲ、母性看護学概論、母性健康論、母性看護援助論</p>						